

令和8年度第1回北方町総合教育会議会議録

令和8年5月26日、北方町総合教育会議を北方町役場まなびの広場で開催した。

本日会議に付した事案は次のとおりである。

日 程

第1 令和8年度教育委員会の重点施策について

第2 町長より

第3 意見交流

1. 本日の会議の出席委員は、次のとおりである。

町長・・・・・・・・・・戸部 哲哉

教育長・・・・・・・・・・名取 康夫

教育委員・・・・・・・・佐野 和美、林 明夫、安田 和夫、村瀬 康一郎

1. 委員以外の出席者は次のとおりである。

教育次長・・・・・・・・・・山路 康代

教育総務課長・・・・・・・・北中 龍一

主 幹・・・・・・・・・・矢崎 貴子

主 幹・・・・・・・・・・渡部 純一

主 幹・・・・・・・・・・高井 勇一

課長補佐・・・・・・・・・・神谷 洋志

1. 課長補佐 午後3時00分 令和8年第1回北方町総合教育会議を開催する旨を述べる。

1. 課長補佐 教育長より令和8年度教育委員会の重点施策について説明を求める。

1. 教育長 資料に基づき、令和8年度教育委員会の重点施策について説明する。

◎理念 『だれもが尊重され安心して学び合える教育環境をつくる』

◎学校教育 『だれもが安心して学び合うことができ、次世代がたくましく育つようにする』

【重点施策】

《教職員の業務量管理・健康確保措置実施計画》

- ・時間外勤務時間を減らし、心身ともに健康で子供と向き合えるようにする。

《安全・安心な学校（不登校対策、いじめ対策）》

- ・一人ひとりの居場所づくり、楽しい園・学校づくりに努める。
- ・いじめについては、児童生徒理解に努め、初期の組織対応を徹底する。
- ・「挨拶・掃除・整頓」を生活の基本として徹底する。

《幼保小中一貫保育教育》

- ・異学年交流による学習を計画的に実施する。
- ・「架け橋プログラム」「英語教育」「ICT教育」「北方科」の充実を図る。

《スポーツや文化活動の場の確保》

- ・平日部活動と休日の地域展開の仕組みを確かなものにしていく。

【来年度以降に向けて】

- 令和9年度保育園とこども園の再編（廃園や増築等）
- 外トイレの改修

◎社会教育 『文化、芸術、スポーツの振興を図り、いつまでも学び続けられるようにする。』

【重点施策】

《文化・芸術の振興》

- ・きらりホール主催事業を工夫し充実を図る。
- ・文化・芸術活動の発表や展示の支援や工夫をする。

《スポーツの振興》

- ・町民歩け歩け運動の拡充を図る。
- ・町民ふれあい運動会や各種スポーツ大会の改善を図ったり支援したりする。

《生涯学習の推進》

- ・生涯学習センターの有効活用を図る。
- ・季節や時の話題に合わせた図書館のコーナーの設置などを行う。

《家庭や地域の教育力の向上》

・家庭教育学級のオンライン開催を行う。

【来年度以降に向けて】

○総合体育館の修繕

○施設の予約や鍵の管理等のスマート化

1. 教育総務課長 資料に基づき、北方町立学校の教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画について説明する。

1. 町 長 学校教育・社会教育についての方針の説明がありましたが、方針そのものは昨年度から変わっていないと思われます。私は教育者ではないので、詳しいことまではわかりませんが、基本は社会に出たときに社会人として自立できる人を育てることが最終的な目標だと思っています。昨今のニュースを皆さんご存じだと思いますが、高校生の強盗事件や闇バイトに関する事件など色々起きております。ちゃんとした社会人、大人に育てるというのが、一番の願いであり、役割だと思っております。北方町は小さな町ですが、小さいゆえに身近に相談ができると思っております。予算に関することについてはすんなり答えが出ないものもあると思いますが、大方のことについては教育長なり、私なり耳に届けば対応していきたいと思っておりますし、今回もありました来年度以降へ向けての事業ですが、トイレの改修・総合体育館の修繕・施設の予約や鍵の管理については経費がそれなりに掛かってくると思います。また、経費・人件費などが高騰しており、材料も十分に用意できず不足している現在ですが、必要となればそれなりの予算をつけて対応していきたいと思っております。

1. 林委員 何とか実現できるよう検討してもらえるのでしょうか。

1. 町 長 修繕や業務については予算が用立てできればやっていきますし、他に優先しなくてはならないものがあれば後に回さずを得ないですが、総合体育館の修繕や施設の予約システムにつきましては、設計業務や導入への検討業務を今年度行う予定をしておりますので、順当にいけば来年度修繕・導入といった運びになるものだと思います。

1. 林委員 きらりホールの主催事業や歩け歩け運動など、人気があり集客がすごい出来ている。例えば、祖父母と孫のペアでの募集など、意図的に珍しいグループでの募集などしても面白いのではないか。
1. 町 長 主催事業や歩け歩け運動に関しては応募が早い段階で埋まってしまいますが、メンバーを見ると一部の限られたメンバーだと思います。何を行うにしても人に関心を持ってもらうということは大変難しいことだと思っています。そういう中でもいろんな事業を考えてもらい毎年、行っておるのですが、関心ない方に関心を持ってもらい事業に参加してもらう。そうすることで町のことや役場のことを知ってもらうきっかけになると思っています。一度、参加していただいた方に次回も参加してもらうような取り組みを継続的行ったりしますが、中々広がっていかないというのも現実かなと思われます。でも、やらないよりはと、たとえ少しでも成果があればと思ひ行っております。
1. 佐野委員 歩け歩け運動は私もぜひ参加したかったのですが、仕事の都合で参加できなくて非常に残念でした。町長が言われたように続けていくことが大事だと思っている。発信を続けることで参加してくれた方々をまた繋げていく事が重要だと思う。教職員の業務量管理・健康確保措置実施計画の中に地域や保護者宛てに発信しているものもあるが、この計画は公表されているのか。
1. 教育総務課長 こちらはホームページに載せてありますし、学校教育会でも説明させていただいている。
1. 佐野委員 ぜひ広報などで町民にも広く知ってもらおうとよいのではないか。認知度が低いと思われるので、目に入るところで公表して保護者や町民にも知ってもらうのにはよいと思う。
1. 村瀬委員 タブレットが一人1台になっているので、例えばこういったチラシや計画などのデータを、子どもが持って帰ったときに、家で保護者向け情報として家庭でも見てもらえるような設定ややり方はできるのか。

1. 主幹 タブレットに関してはそのような設定にはなっていない。ただ、ほかの媒体で携帯でデータを張り付けて、保護者に周知ができるような物はあり活用しております。
1. 安田委員 町長が言われるように地域と繋がることは非常に大事だと思う。行政自体の考え方を押し付けるのではなく、地域には外国の方や障害を持っている方、年を取っている方色々な人がいて、それぞれの考え方を知ることだけでもいいことだと思う。また、教育長を始めとした事務局の方の頑張りだと思いますが、教員が欠員なくほぼ充当されているということには非常に感謝をしたい。欠員がない状況というのは普通なことではなくて、岐阜地域の他の市町をみてもそんなところはない。これは働いている教員にとっても励みになる。ありがたいです。
1. 課長補佐 次回は10月に実施する予定である旨述べる。他に質疑がないことを確認し、午後4時15分、本日の付議事項がすべて終了した旨を述べ、本会議の終了を告げた。